

児童がのびのびと遊び、体験できる居場所を目指して活動

愛知県あま市

活動名

甚目寺南小学校放課後子ども教室

関係する学校

甚目寺南小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア参加数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		1人	13人	192日	有	無	無	無
放課後子供教室	実施場所				開始年度	放課後児童クラブとの連携		
	余裕教室、校庭など				20年度	一体型		
コミュニティスクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯

- ・平成20年度に地域で最初に開設され、他教室の模範となっている。
- ・自主学習（宿題）、自由遊び（屋内・屋外）、工作、季節行事、体験活動などを主に実施している。
- ・スタッフはコーディネーターを始めとして4名で運営しており、プログラム内容によっては外部より適切な講師を招いている。
- ・プログラムに英会話を取り入れるなど、国際化社会への対応を考慮している。

特徴

【特徴的な活動内容】

- ・児童の安全面を第一に考え、工作やスポーツ、季節行事など、児童に対し、できるだけ多くの体験活動を継続的に提供できるよう工夫している。
- ・講師を招いての三味線や英会話といったプログラムを定期的実施しており、多くの児童が普段の遊びとは一味違った楽しさを求めて参加している。
- ・可能な限り、児童の自主性を尊重し、のびのびと遊び、体験できる居場所となるよう心がけている。
- ・プログラムによっては児童クラブと連携して活動できるよう調整している。
- ・児童の体調や子ども教室での出来事に細心の注意を払い、気になる点は保護者へ伝えるなど、密に連絡を取り合うよう心掛けている。

【実施に当たっての工夫】

- ・参加する際に必要な「参加カード」には保護者との通信欄を設け、児童に関して気になった点を記すなど、情報交換を密にしている。
- ・お迎え場所までスタッフが児童を連れて行き、保護者と直接話す時間が取れるよう心掛けている。
- ・自主的に学校の宿題を行う児童には、集中して取り組めるよう机と椅子を用意し、質問があれば答えるなどの細かい配慮をしている。

事業を実施して

- ・様々な性格や特徴を持った児童があり、年度始めは学校生活にも慣れていないため、指導員が児童の行動に対して注意する場面も多くなるが、靴やランドセルを綺麗にそろえられるようになったり、けんかの後で相手に謝ったりすることができるようになるといった児童の成長が見られるとうれしくなる。

その他

- ・異学年と遊ぶ中で、上級生・下級生共に精神的に成長できるような場所にしたい。



講師を招いての三味線体験



絵本の読み聞かせ